

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL [www.t-s-r.co.jp](http://www.t-s-r.co.jp)

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSRビル

代表取締役社長 藤田正雄

## TSR - Press Release

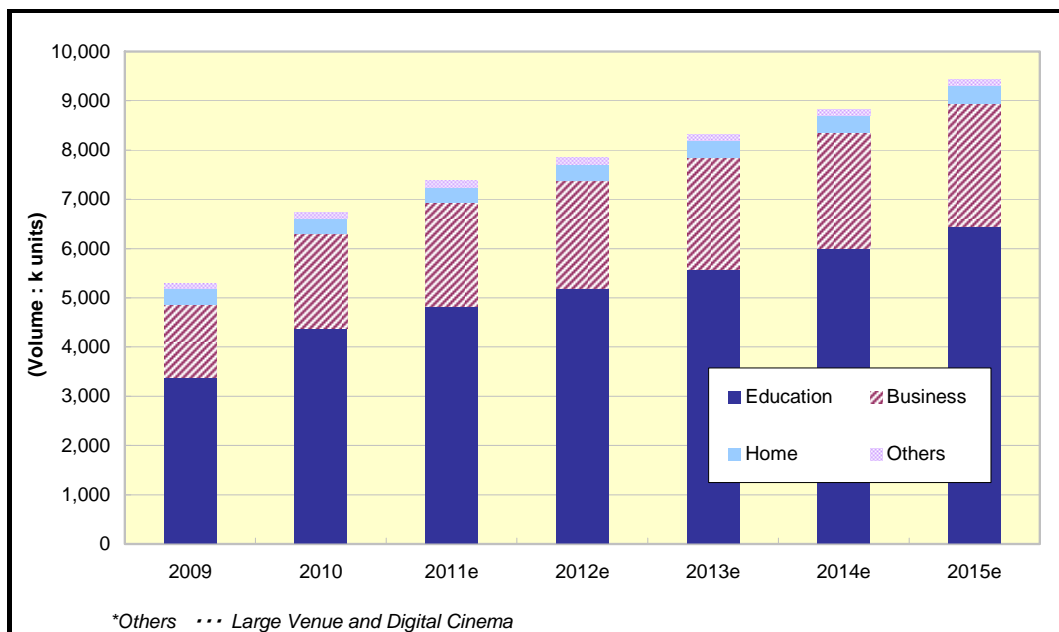
# 次世代フロントプロジェクターの市場予測を発表

～ プロジェクター市場の付加価値となる

短焦点プロジェクター、固体光源プロジェクターの市場可能性を算出 ～

株式会社 テクノ・システム・リサーチは『Key Devices for Projection Displays 2011』を刊し、2010年のフロントプロジェクターに関する市場規模を発表した。2010年のフロントプロジェクター市場は、数量規模で約685.4万台、金額規模で約7,334.2億円となっている。フロントプロジェクターは、主に文教市場での普及が拡大しているものの、2010年は3D映画の登場によって、デジタルシネマ市場が前年比約4倍以上と飛躍的な成長を遂げた。さらに2011年には新興国の文教市場においても需要拡大が期待されており、今後も普及台数は増加傾向が続く見通しとなっている。尚、フロントプロジェクター市場は、2015年には900万台超の市場規模を形成する見込みとなっている。

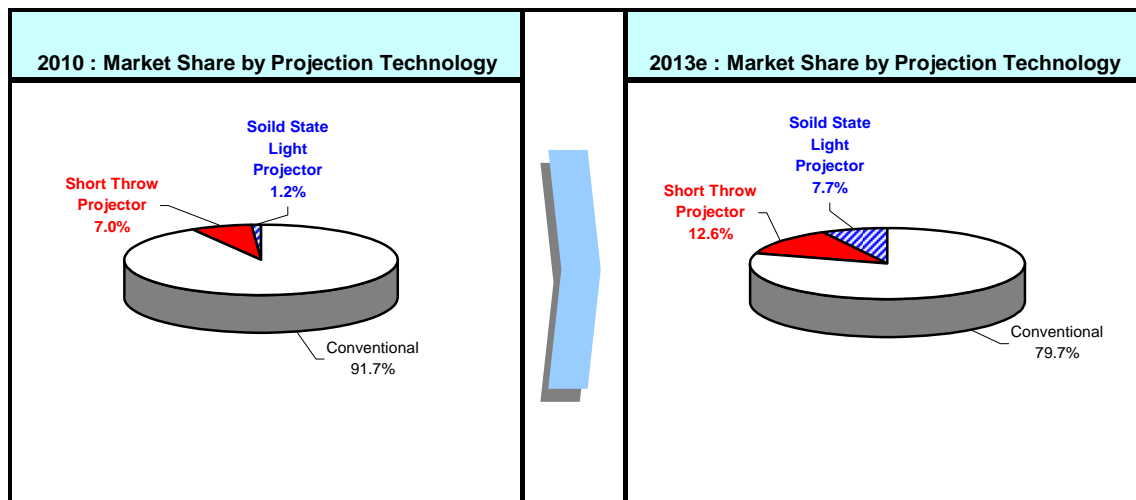
[ フロントプロジェクター市場：対象市場別長期予測 ]



### 【次世代フロントプロジェクター：新技術搭載プロジェクターの市場可能性】

フロントプロジェクター市場は、数量規模での伸張は堅調に推移する見込みとなっているものの、今後の新興国市場への普及拡大に伴い、製品単価の下落が懸念されている。そのため、付加価値技術を搭載した製品投入が急務となる。現在、その付加価値として期待されている技術として、焦点距離が従来製品よりも短い短焦点プロジェクターと従来光源となる超高圧水銀ランプから LED や Laser 等へ変更することによって長寿命化、グリーン化を促す固体光源プロジェクターが挙げられ、現在製品展開が始まっている。株式会社 テクノ・システム・リサーチでは、この 2 つの新技術搭載プロジェクターの市場可能性や同プロジェクターのフロントプロジェクター市場への今後の影響について、調査を行った。2010 年時点、両製品における普及率は市場全体の約 8.3%となっているものの、短焦点化による利用者への入光軽減や固体光源採用によるランプ交換フリーによるユーザー側のメンテナンス軽減、また欧州の環境規制対応等が背景となり、2011 年には約 11.0%へ普及率が拡大、さらに 2 年後の 2013 年には両製品合わせて数量規模で約 170 万台、普及率が 20%超となる見込みとなり、今後の市場拡大が大変期待されている。

### 【新技術搭載プロジェクターのフロントプロジェクター市場への普及率】



※ 詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

#### 【リリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

第2グループ 木村 準一 (kimura@t-s-r.co.jp) 諸見里 依子 (moromizato@t-s-r.co.jp)

Tel: 03-3866-4505